

鳥海山紀行

★ 登った日 : 2006年9月3日(日)

★ 登った人 : 伊東 英一

★ 登山ルート

酒田 → 八幡 → 湯の台 → 車道終点 → 滝の小屋 → 八丁坂

→ 河原宿 → 大雪渓 → 小雪渓 → アザミ坂 → 伏拝岳 → 七高山

→ 火口 → 新山(頂上) → 火口 → 七高山尾根 → 伏拝岳 → アザミ坂

→ 小雪渓 → 大雪渓 → 河原宿 → 八丁坂 → 滝の小屋 → 車道終点

→ 湯の台温泉(鳥海山荘) → 八幡 → 酒田

◎ 5:15 自宅アパート出発



酒田市から八幡を抜けて、湯の台の手前で右折し、車道終点へと向かう。周りは草原で、ススキが一面に広がり、すでに秋の気配がただよっている。天気は快晴、鳥海山の頂上まですっきり見えるが、これからの山行の工程の長さも感じながら、いよいよ急カーブ、急勾配の道路を進む。

◎ 6:00 途中「のぞき」と呼ばれる場所から月山方面をのぞむ。

すでに先人が三脚を立てて、シャッターチャンスをとらっていた。
ビューポイントのひとつなのであろう。私も途中下車してシャッターを切った。
6月はじめに来たときはこの辺も雪でとざされていた。



◎ 6:10 車道終点

酒田(自宅)から走行距離 約20km、すでに10台近く先客がいた。
40台位しか止まれないようで、夏のピーク時はいっぱいになるらしい。
この300Mくらい手前にも駐車場があり、上が満杯だとそこから登ることになる。
コンクリート製の立派な建物あり、下が水洗トイレ、2Fが休憩所となっている。
6月の初めに来たときは閉まっていた。
ここで、朝飯をたべて、いよいよ出発である。

◎ 6:30 出発



◎ 6:50 滝の小屋

駐車場から滝の小屋までは切石が並べられていて、よく整備されている。
滝の小屋の公衆トイレも立派なものが作られている。



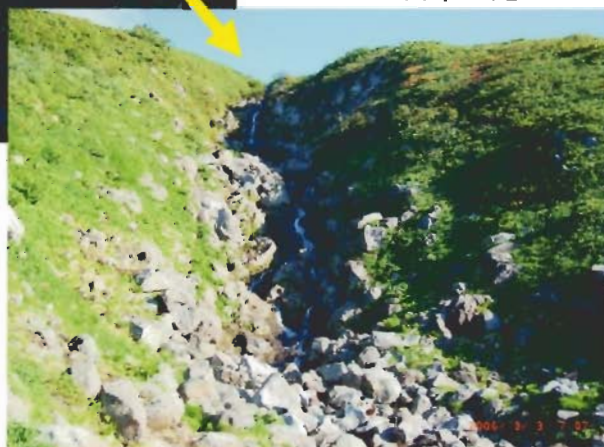
◎ 滝の小屋から 八丁坂を望む。

谷あいには白糸の滝がみえる。6月初めに来たときは、一面雪に覆われていた。
その時は中腹まで雪渓を登ったが、装備不足のため、断念した。



(H18.06.03の状況)

白糸の滝



登山ルート
(滝の小屋→八丁坂)

八丁坂と云うくらいあって、
結構きつい坂でした。

◎ 7:20 小休止

八丁坂の途中で下を振り返ると酒田市内と日本海が望まれ、ほっとした気分になった。



◎ 7:50 河原宿



八丁坂を登り切ると、景色がひらけ、河原宿(7合目)に到着である。大雪溪の向こうに、頂上が見えるが、早くもガスがあがってきた。



◎ 8:00 河原宿出発



大雪渓を通過、途中 チングルマ の群落など、高山植物に心が洗われる。



◎ 8:25 小休止

大雪渓を登りきり、小休止、頂上まですっきり見える。
あとでわかったが、ここから見えるのは頂上ではなく外輪山の一部だった。



◎ 9:00 小雪溪の下で休憩

途中、スキーを担いだ人に出会う。八戸から来たそうだ！



雪溪をバックにセルフタイマーで……



◎ 9:50

小雪溪を横断し、振り返ると日本海と酒田の風車(風力発電)がよく見える。



ミヤマリンドウ



さきほどの人がすべりはじめた。踵のあがるピンディングで山スキー独特のすべりだ！



◎ 10:00 出発

ここから、アザミ坂を一気に外輪山まで駆け登る。
アザミ坂と名前はやさしいが
なかなかきつい!!
時々、立ち止まりながら、下界をながめる。



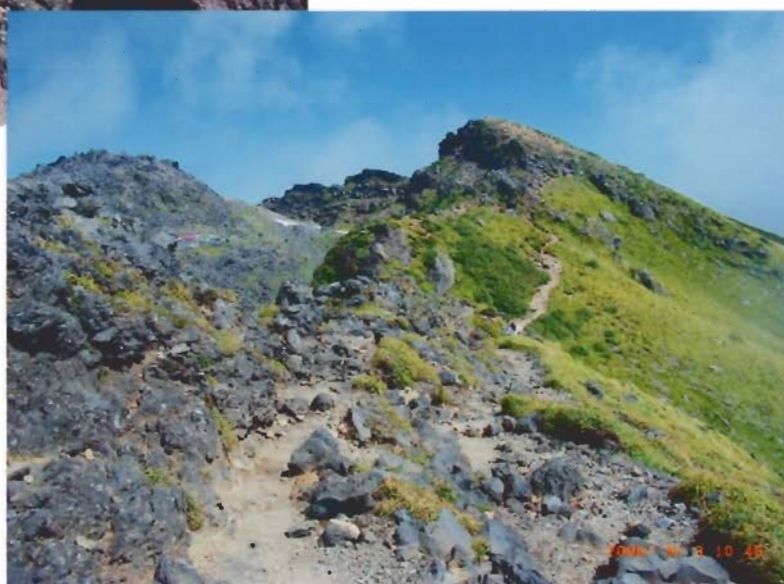
◎ 10:15 伏拝岳（外輪山）到着



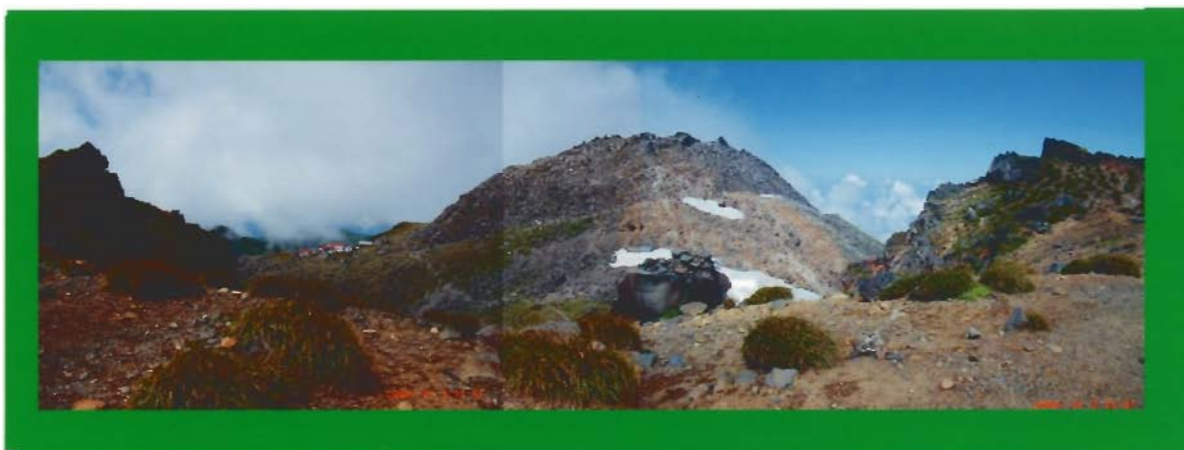
ついに、外輪山の崖の向こうに新山(頂上)が見えた。
頂上の下に御室小屋もみえる。
しばし、休憩後、外輪山の尾根づたいに七高山へとむかう。
この尾根は岩手山の鬼ヶ城を思い出させてくれた。



途中、新山とその右に外輪山の最高地点(2230M)の七高山も見える。



◎ 11:20 七高山 到着



眼前に溶岩ドームでできた新山頂上をみながら、昼食をとる。
下界から、重い思いをして持ってきた缶ビールが最高においしかった。
保冷剤と凍らしたお茶の間にいれておいたら、まだ冷えひえのままである。

新山頂上(2235M)をバックにセルフでポーズをとる。



噴火口



頂上(2235M)に
人が見える。



◎ 12:10 七高山 出発

いよいよ頂上へ向かう。
しかしながら、そのルートは一旦、火口まで一気におりてから
切り立った溶岩ドームをよじのぼらなければならない。
一瞬、躊躇して、次の機会にしようかとも思ったが、
気をとりなおして、火口へ下り始める。
この火口は5月くらいだと全て雪渓に埋まり、この時の方が楽に
頂上へ登ることができるらしい。スキーも楽しめるらしい。



火口をおりて、いよいよ
頂上へと向かう。



◎ 12:45 頂上 到着

頂上から外輪山の向かいにさきほど登った七高山が見える。



秋田側を望む。
ガスがあがってきて
ほとんどみえない。



頂上付近は
どこをみても溶岩で
できた岩山ばかりである。



頂上でポーズ？
(実は、ここは頂上ではなかった！どうも標識が
ないので、おかしいとは思ったのだが、このピークの方が
高いようだったので、こちらに登ったのだが……)



もうひとつの岩山のピークへ登ると、やっと頂上の標識が現れた。鳥海山頂(2235M)である。

◎ 13:00 山頂出発

溶岩ドームの岩山を逆に火口までおりて、ふたたび外輪山の分岐まで一気にのぼる。

◎ 13:25 外輪山分岐

小休止して、尾根沿いに伏拝岳までもどる。軽くくだりで、道端の高山植物をみる余裕もあり。



イワギキョウ



チョウカイフスマ

鳥海山のシンボルで砂礫に、5弁の可憐な花を咲かせる。



◎ 14:00 伏拝岳 通過

ここから、再び、アザミ坂をくだる。
くだりも結構、きつい、若いころは一気にくだれたものだが……



ミヤマキンバイ



途中、小休止しながら、
高山植物を観察



アオノツガザクラ

◎ 14:50 小休止

いま下ってきた坂を振り返る。



チングルマ 二態



花名の由来(稚児ぐるま)どうりである

◎ 15:30 河原宿 到着



小屋のそばに腰掛けながら中休止、大小の雪渓がきれいだ。
これは万年雪になるのか？
さあ、あとは滝の小屋を経て、駐車場まで小一時間のくだりだ！



ハクサンフウロ

◎ 16:30 駐車場 到着

この後、湯の台の鳥海山荘まで行き、温泉で疲れをいやした。



【あとがき】

ひさしぶりの本格登山であったが、やはり、体力の衰えを感じた山行であった。
やはり無理をしないで、年相応のペースでいないとね……………。

以上